

『復興の担い手×全国の力』

～東北との関わり方を考える～



■日時：2018年10月10日（水）14:00-18:00（13:30 受付開始）

■会場：新霞が関ビル 5階会議室（東京都千代田区霞が関3丁目3番2号）

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」No.5/11 出口、千代田線・丸の内線・日比谷線「霞が関駅」No.A13 出口

今回のコンセプトは、「東北との関わり方を考える」です。東日本大震災への関わりを考えることが、日本の未来を創り、今、日本各地で起きている災害復興の希望となる。東北との関わり方、繋がり方を東北で活躍する9名と一緒に考えませんか。

【プログラム（予定）】

1. 話題提供：「東北との多様な関わり方」
2. 第2部：パネルディスカッション「復興の担い手が考える東北への関わり方とは」
3. 第3部：フロアーセッション「全国からできる東北への関わり方とは」

内容の詳細や申込
方法は裏面をご覧
ください

【主催】東日本大震災支援全国ネットワーク

【助成】復興庁コーディネート事業



東日本大震災支援
全国ネットワーク

【プログラム】

14:00～ 開会

14:10～ 第1部：話題提供「東北との多様な関わり方」

- ・2018年7月20日開催した「現地会議 in 東北」の内容を報告
- ・話題提供者：東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

14:25～ 第2部：パネルディスカッション「復興の担い手が考える東北への関わり方とは」

- ・現地支援団体の活動紹介とパネルディスカッション
- ・コーディネーター：東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

16:25～ 第3部：フロアーセッション「全国からできる東北への関わり方とは」

- ・登壇者も交えて、参加者同士で東北への関わり方について、対話をおこないます。
- ・ファシリテーター：東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

17:40～ 閉会：（18時終了）

〈〈第2部登壇者〉〉

【岩手県】 山崎素子氏（株式会社キャッセン大船渡 PR/ プロモート担当）、岡本翔馬氏（認定NPO法人桜ライン311 代表理事）
小原裕也氏（社会福祉法人釜石市社会福祉協議会 地域コミュニティ係）

【宮城県】 田中雅子氏（NPO法人こども∞感ばにー 代表理事）、八巻真由氏（YOMOYAMA COMPANY 代表）、永沼悠斗氏（3.11
メモリアルネットワーク/一般社団法人長面浦海人/大川伝承の会）

【福島県】 米倉一磨氏（NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみ所長）、
杉内清繁氏（一般社団法人南相馬農地再生協議会 代表理事）、平山将士氏（一般社団法人ならはみらい 事業統括）

【参加対象】

○参加対象

- ・東北との関わり方を考えたい企業、団体、個人
- ・SDGsのヒントを得たい企業、団体、個人
- ・インターンシップやボランティアを考える個人
- ・東北で研修を考えている企業、団体
- ・東日本大震災の現状を知りたい企業、団体、個人

【申込方法】

○JCN ウェブサイトから

https://jpn-civil.net/2014/blog/2018/09/_in_721.html

【お問い合わせ】

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN） 事務局

TEL:03-3277-3636 Mail:office@jpn-civil.net

関連イベント情報！ 広域避難者支援ミーティング・全国版（第6回）

○日時：2018年10月9日（火）14:00-17:30

○場所：新霞が関ビル5階会議室（東京都千代田区霞が関3丁目3-2）

○主催：東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）

○後援：日本弁護士連合会、中央共同募金会

○対象：広域避難者当事者・広域避難者支援に取り組む民間支援団体

○参加費：無料

○助成：真如苑

※申込必須：JCN WEB サイトから申し込み

○開催趣旨

広域避難者支援に関わる様々な担い手が一同に会し、相互理解とゆるやかなネットワークの拡充につながるための機会とします

○内容

法律家、避難当事者、ジャーナリスト、研究者、支援団体からの話題提供と参加者の意見交換を予定しています。